様式 2 (2018年度)

事業実績報告書

※この報告書は、なごや環境大学のウェブサイト上に記録として掲載されます。

講座番号	B-67	講座名	岐阜県山県市北部でまったり2018〜秋・冬〜
記載日	2019/3/20	団体名·企業名	山里生活体験推進委員会

〈講座全体の概要〉(300字程度)

山県市内には、都市部には無い静かな環境、ゆっくりと流れる時間、澄んだ空気や晴れ上がった夜空などの豊かな自然、都市部が失ってしまった自然との共存の営みを今でも行っています。

名古屋に住む方々へ向けて、人類が生きる源となる自然環境というのはどういうのもなのか。 体験を通して知っていただき、住んでいる地域と比較することで、違いを感じ取り、何が大切 であるかをそれぞれ感じ行動していただける講座を行っています。

<写真添付スペース(1~2点)>





※写盲1	の説明
ハナモリ	Vノ ロル・ツコ

※写真2の説明

201/11/18 岐阜県山県市の山畑

2019/02/10 岐阜県山県市北山公民館

里芋を地元の方の畑から収穫する

講師の方に味噌づくりを教わる

〈 企画・運営者の声(感想) 〉(350字程度)

今年の後期講座は、昨年より参加者が増えとても賑やかなイベントなりました。

参加者同士の交流も増えて、山村地域の環境を肌で感じていただけたかと思います。

しかし、お子さんの行動で大人の参加者の方からも不満がでていましたので、今後グループを 分けるなど対策をしていきます。

〈 受講者の声(実感した反応及びアンケートより) 〉(3~5点、計350字程度)

レシピを聞くと気軽に教えてくれてよかった。

こんにゃく作りが初めて最初から作れてうれしかった。

大豆を用いた料理を作れて勉強になりました。

人の温かみを感じた。時間を忘れることができた。

子供がうるさく、また料理を作るのに手でぐちゃぐちゃしたり、きたなく食べたり、親も注意 せず、いやだった。